

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年7月13日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	熊取町役場	代表者名	藤原 敏司
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	072-452-9016
担当者役職	主事	担当者氏名	堀野 涼子
住所	590-0495 大阪府熊取町1丁目1番1号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	坂下 知司
評価	よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	積極的に本町の基礎情報を収集してくれたことに加え、作成途中であるスマートシティ構想案と取組内容についても事前に目を通し意見を提供してくれるなど、派遣日を迎えていないにも関わらず熱心に本町の現状・課題に向き合い携わってくれた点。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2020年7月8日	13時00分	15時00分		120
	派遣形態	支援・助言 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	3 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	キャッシュレス化を地域内店舗に進める上での通信環境や導入機器への費用助成、決済サービス事業者や地域内店舗との議論の進め方、行政手続電子化による職員の労力の増大・事務量の増加、庁内における進捗管理など。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	出来るだけ早く、事業化に向けて実務の課題を洗い出すとともに、電子化・キャッシュレス化を進めていく上での自治体側の障壁、課題、取組方法をアドバイスいただく。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	スマートシティ化を進めていくために設立した庁内プロジェクトチームにおいて議論し、個別具体的な取組内容 (案) を作成した。この取組内容に対し、坂下氏からアドバイスを受けた。 大学・民間企業・住民等さまざまな団体を巻き込みながら「協働」でスマートシティを進めていくとともに、おくやみワンストップサービスやはんこレス等を進める上でも、ベンダー (販売元) や司法書士等に意見をもらうことも重要である。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	住民ニーズよりも「役場ができること」を優先している感があり、庁内側の課題と住民側の課題は分けて考えることが重要であること。住民ニーズを把握する上で、アンケート調査は意外と本当のことは書かないので得策ではなく、住民ニーズを出来る限り想像した上で、聞ける範囲で意見を聞き、構想や取組内容をHPに掲載し意見を集める等が重要であること。LINE等によるチャットツールは、住民とのやりとりは通常自動返信による単方向のものが多く、双方向のやりとりを望むなら事業者と相談してみてもどうかとのこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	アドバイスをいただきたかった行政DXについては議論をすることができたが、時間の都合でまちのキャッシュレスについて議論ができなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	熊取町が今後もまちの活力を維持し続けるため、先端技術による利便性の向上を住民が実感でき、住み続けたい、いつか住みたいと憧れをもってもらえるまちづくりを進める。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

坂下知司 さんが固定表示されています

13:29

The screenshot shows a Zoom meeting interface. On the left, a video feed shows a man with glasses, identified as 坂下知司 (Sakata Tomohiko). The main area displays a PDF document titled '取組内容' (Implementation Content). The document is a table with columns for '地域分野' (Regional Sector), 'LUM以外の可能性も?' (Possibilities other than LUM?), '(A)令和2年度中に実施すること' (Implementation in FY2020), and '(B)令和3年度～5年度中の実施すること' (Implementation in FY2021-2023). The rows are categorized by sector: A (自治体), B (民間), C (大学), D (市民), and E (その他). The document contains detailed text and handwritten notes in yellow and blue. A video feed of the man is overlaid on the right side of the PDF.

地域分野	LUM以外の可能性も?	(A)令和2年度中に実施すること	(B)令和3年度～5年度中の実施すること
A 自治体	自治体の電子化/デジタル化 ・住民サービス ・ペーパーレス ・キャッシュレス a 住民の行政手続き b 行政事務	自治体の電子化/デジタル化 ・住民サービス ・ペーパーレス ・キャッシュレス a 住民の行政手続き b 行政事務	自治体の電子化/デジタル化 ・住民サービス ・ペーパーレス ・キャッシュレス a 住民の行政手続き b 行政事務
B 民間			
C 大学			
D 市民			
E その他			